

Jichiro しまね県職連合



第 236 号

1面…会計年度任用職員の人事
評価結果の処遇反映
県庁本庁舎トイレ改修
松江・出雲市議選候補推
薦決定
2面…病院対策会議

発 行

島根県職員連合労働組合
〒690-8501 松江市殿町1番地 県庁内
TEL 0852・22・5475(代) FAX 22・6654
<https://www.kenshokurengoshimane.jp/>

会計年度任用職員の人事評価結果の処遇反映について 本格実施を了承しました

今年度から会計年度任用職員に対しても勤勉手当が支給されることに伴い、人事評価結果を勤勉率に反映させることになっています。

しかし、県職連合は交渉により、今年度からいきなり反映させるのではなく、今年度1年間を試行期間とし、実施状況を確認することとしていました。

12月5日に開催された今年度第2回目の人事評価制度運営協議会で、実施状況に不適切な点はないことが確認されたため、来年度から本格実施することについて執行委員会、闘争委員会で検討の上、了承することとし、12月25日人事課長へ回答しました。

なお、本格実施にあたり、次の3点について取組み強化を求めています。

- 1.二次考課が絶対考課であることについて、二次考課者が確実に理解し、実行すること。
- 2.上司多面評価について、全職員の理解を深めるとともに、実施率を向上させること。
- 3.人事評価制度の主な目的である人材育成について、改めて全職員の理解促進を行うこと。

人事評価制度については、引き続き適切な運用が行われるか注視が必要です。ご意見等ある方は、本部または支部へご連絡ください。

本庁舎のトイレ改修について 意見書を提出しました

昨年11月、管財課は障がい者雇用率向上に向けた環境整備の一環として、県庁本庁舎2～6階のエレベーター隣の給湯室を車椅子トイレに改修する方針を出し、県職連合に意見照会がありました。県職連合は、県庁支部内該当分会の意見集約を行い、12月25日、管財課へ下記のとおり回答しました。

1. 車椅子トイレ設置について 賛同します。

なお、表記について、「車椅子トイレ」とすると、身障者のみ利用という限定的なイメージを与えるため、「多機能トイレ」等の表記をしていただくようお願いします。

また、トイレ設置にあたっては、当事者の意見も聞いていただくようお願いします。

2. 給湯室が1か所になることについて

下記の意見が各分会から出ていますので、対応をお願いします。

- 昼休み、夕方の混雑が予想されるため、各課間での使用時間等の調整。(多数分会より同様の意見あり)
- 給湯スペースの拡張。食器洗浄用のスポンジや洗剤を置くスペースの確保。
- 生ごみ量の増加が予想されるため、清掃、廃棄の対応。
- 北側女性トイレの出入り口が丸見え状態にならないよう、目隠し設置。
- 弁当等の容器回収場所の確保

3. その他

執務室や共用スペースのバリアフリーに関しても適宜チェック、改修等を行っていただくようお願いします。

実際の工事は、2025(R7)年度後半から実施予定です。

なお、障がい者雇用率向上の環境整備について、ソフト面での対応の必要性についての意見も出されており、今後、当局に取り組みを求めています。

松江市議選

出雲市議選

予定候補者を闘争委員会において推薦決定!!

2025年4月実施の松江市議選(4月13日告示、20日投開票)、出雲市議選(4月6日告示、13日投開票)の予定候補者について、12月20日開催の第15回闘争委員会において、つもり良治氏(現松江市議会議員)、大谷良治氏(現出雲市議会議員)を推薦することに決定しました。

両氏とも市民生活に密着した議員活動を積み上げ、県職連合とも強い連携を継続しています。地方公務員の現場をよく知る強力な理解者であり、各市議会における私たちの代弁者としてなくてはならない存在です。

みなさんの協力により、より多くの支援拡大を行っていきましょう!

松江市議会議員選挙予定候補者

出雲市議会議員選挙予定候補者



りょうじ
つもり 良治

1965年9月3日生(59歳)

【略歴】

- 1988年 松江市農業協同組合職員となる
- 1993年 自治労島根県本部書記(石橋大吉衆議院議員公設秘書)
- 2000年 松江市議会議員補欠選挙初当選(現在7期目)



おおたに りょうじ
大谷 良治

1965年11月11日生(59歳)

【略歴】

- 1990年 渡部印刷(株)入社
- 2000年 全国一般渡部印刷分会執行委員長
- 2008年 全国一般島根地方労働組合執行委員長(2期)
- 2010年 渡部印刷(株)退職
衆議院議員 小室寿明公設秘書
- 2013年 出雲市議会議員初当選(現在3期目)

しまね県職連合 LINE
公式アカウント

友だち募集中!
※組合員限定



政策要求の実現を!

岸まきこ

参議院議員
(自治労組織内議員)

自治労は、第27回参議院選挙の全国比例区に「岸まきこ」現参議院議員の擁立を決定しました。



公式HPや
各種SNSで、
日々の活動を発信中!



病院対策会議報告



県立中央病院

県立こころの医療センター

公立病院は、地域医療の最後の砦として、診療報酬の枠組みでは赤字が出てしまう政策的な役割も担っているため、赤字経営になりやすいという制度上のハンディキャップを持っています。

それに加えて、現在は人口減による患者の減少、物価高騰や人件費アップによる経費負担増、建物、設備の老朽化による維持・管理費負担増といった要因が膨らみ、全国的に公立病院の経営は赤字が膨らむ状況となっています。

県立中央病院、県立こころの医療センターも例外ではなく、このままでは経営が困難となり、県職連合の働く仲間である島根県病院局職員労働組合(病院局労組)の組合員の雇用が守れなくなるかもしれません。

この状況を改善すべく、県職連合では、昨年7月から病院対策会議を立ち上げ、対策を検討しており、その状況を報告します。

病院対策会議開催経過

1回目:7月10日(水)
現状確認/スケジュール検討

2回目:8月22日(木)
労使合同学習会
講師:自治労島根県本部公立病院問題対策アドバイザー 米田幸夫
『島根県立中央病院の現状と課題』はくいし恵子、岸みちぞう両県議参加

★9月県議会で自治労組織内議員「岸みちぞう」県議が病院局の経営に関し、質問しました

3回目:9月18日(木)
今後の取り組みポイント検討
組合員との情報共有/労使での情報・危機感の共有

4回目:11月27日(水)
課題分析/当局への質問事項洗い出し ほか

1. 県立病院を取り巻く課題の把握

対策が急がれる経営上の課題

右のグラフを見てください。経営状況の悪化により、内部留保資金の減少が進んでいます。R2～4は若干改善していますが、コロナ補助金の収入増によるものです。補助金がなくなった今R6以降はさらに減少の見込みです。このままでは経営が立ち行かなくなることも想定されます。

経営状況の分析、解説をお願いした、自治労島根県本部公立病院問題対策アドバイザーの米田幸夫さんからは、次の対策を急ぎ行うよう指摘されました。

- 経営状況の理解や改善策について労使で共通理解し、取り組むこと
- 同一医療圏域内の公立病院との役割や連携の見直し
- 設置者である県(県議会)との連携



当局の対策は...

当局がどんな対策をしているのか確認しました。

- 次の各種計画の策定・実行
 - ・島根県立病院経営強化プラン
 - ・経営改善実行プラン2024
 - ・島根県保健医療計画(R6(2024)～R11(2029))
- 県(県議会)との連携

2. 組合で取り組むことを検討

経営課題への対応策

経営状況に関心をもち、改善策に参加する

まずは当局が出している経営に関する情報を把握し、理解する必要があります。各種計画、プランは基本的に県のHPで公開されています。また、病院局内では不定期に『経営通信』という情報誌が、内部ネットワークで閲覧できます。

でも、実際には読んでもよく分からない、自分の持ち場では具体的に何をしたらいいか分からない人が多いのではないのでしょうか？

今後、労使共催の学習会等実施を検討します。

地域医療を守るための制度改善に取り組む

- 自治労衛生医療評議会を通じて、県、国等へ改善要望を行う
- 組織内議員を通じて、県、国等へ改善要望を行う

全国に組合員が約70万人いるスケールメリットを活かし、制度改善の取組を進めましょう。



県職連合組織内県議「はくいし恵子」さん

組合が取り組むにあたって...

Q 経営改善は当局の責任だから、組合が取り組むのは違うのでは？

A 実際の現場は職員(組合員)が担当しており、責任の一端を担っています。私たちの働き方ひとつで良い医療の提供を行うことができ、患者や地域の医院から選んでもらえる病院になることで、経営が改善できます。

経営について無関心なまま働くと、結果として経営悪化の原因を作ることにもなりかねず、その結果、自らの職場を失うことにもつながってしまいます。

私たちの働きやすさがよりよい医療提供につながることを意識し、当局へ必要な意見や要望を出し、日々の業務の中で経費削減や、働き方改善の提案、取組を行いましょう。

Q 経営状態に関する情報や経営改善に関する取り組みについて、当局から周知はされていますか？

A 当局からは、IIMS上で『経営通信』や決算報告等の情報が出されています。しかし、多忙な業務の中で、そうした情報を常にチェックし続けることは難しいと考えます。

また、約5年前の調整額カット反対の取り組みの際に、診療報酬や加算申請もれチェックについて、各診療科

等でもかなり徹底して行うようになり、私たちはできることは十分やっていると考えています。

しかし、最近の急激な物価や光熱費等の上昇は、更なる取組が必要なレベルとなっています。

当局に対し、分かりやすく具体的な情報提供を行うよう、組合執行部からも求めています。回答は随時お知らせしますので、組合員みなさんも関心をもち、各職場で話し合ってください。

自治労組織内議員

岸 まきこ さん

公立病院対策に力を入れています。

トピック

12月17日の参議院総務委員会においても公立・公的医療機関の各種交付金単価見直しについて質問し、後日、総務省から3月の補正予算で人勤対応分の交付税単価アップ作業中と回答がありました。

「岸まきこ」さんの活動状況はYouTubeの「きしまきちゃんねる」で！



Q 経営改善ということなら、委託費の見直しや人件費削減、ひいては独立行政法人化等、私たちの雇用が脅かされる提案がされるのでは？

A 委託費の見直しはすでに一部実施されていますが、現在のところ雇用に影響するものは実施されていません。今後も病院局労組への情報提供を求めています。(詳細は病院局労組機関紙で説明します)

人件費については、現在ただちにカットする状況にはないと説明を受けていますが、時間外勤務削減等、働き方改革の取り組みも合わせ、対応が急がれます。

これについては、医師のタスクシフトにより、他職種への業務分担増が見込まれますので、組合と当局としっかり話し合いをしながら進めていく必要があります。各職場において、問題点等発生したり、改善案の提案があれば、各分会で情報共有のうえ、病院局労組へご連絡ください。

独立行政法人化(=独法化)等の合理化について、現在ただちに提案される状況にはありませんが、県外ですでに民間病院も含めた統合・独法化が進められているところもあります。

そうなる前に労使で十分にコミュニケーションを取りながら、できる対策に取り組んでいきましょう。

Jichiro しまね県職連合



第 237 号

1面…定期大会議案、新春特集
号当選発表
2面…2024 県職連合重大ニュース

発 行

島根県職員連合労働組合
〒690-8501 松江市殿町1番地 県庁内
TEL 0852・22・5475(代) FAX 22・6654
<https://www.kenshokurengoshimane.jp/>

県職連合第20回
県職労第94回

定期大会議案

【県職連合定期大会】

と き:2月17日(月)11:00~

ところ:島根県民会館中ホール

第1号議案 2025年度運動方針(案)

組合運動の
理 念

取り組みの3つの柱

I 職場の組織力をあげる取り組み

II 持続可能な職場組織運営の実現への取り組み

III 豊かな社会の実現への取り組み

持続可能な島根県の実現に向けて

4つの重点課題(ポイント)

1.給与改善

実質賃金アップのため、国や
人事院、人事委員会への働き
かけの強化が必要

2.人員確保

専門職確保の強化

中高年齢層の処遇改善を含
めたモチベーション維持・向上

3.誰もが働きやすい職場環境の実現

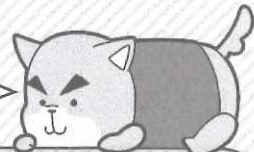
各種労使協議会の場を通じ、チ
ームで仕事ができる働きやすい
職場環境づくりを進める

4.県職連合の組織強化

新採加入率 100%を目指す

組合加入意義実感のため、各
種取り組みの充実が必要

第1号議案の最後には
基本要書(案)も載って
いるからチェックしてね



運動の理念や取り組みの柱は去年に引き
続いた内容だけど、重点課題や各種取組
みは、組合員からのアンケートに基づい
て、意見の多かったものを取り組めるよ
うに提案しているよ



第2号議案 予算(案)

「一般会計:収入の部」組合費は組合員およそ3,800名と見込
み、計上します。

「一般会計:歳出の部」書記局費について、職員費を増額しま
す。活動費について、内容を見直し、各種活動費の減額をしま
す。負担金について、人勤のプラス改定の影響による組合費増
に伴い、県本部組合費や支部交付金を増額します。

第3号議案 闘争資金の徴収

中央本部及び県本部に集約する闘争資金(臨時組合
費)の徴収について提起します。

第4号議案 地域政策活動資金

地域・住民の課題解決に向けた議論・研究・政策提言な
どを行うための地域政策活動資金について提起します。

第5号議案 特別執行委員の選出

特別執行委員の選出について提起します。

事前質疑、修正議案の 提出について

代議員名により、文書またはメ
ール等で2月13日(木)17:00までに
本部へ提出してください。

送信先メールアドレス

honbu@kenshokurengoshimane.jp

国際協力募金へのご協力 ありがとうございました

2024年10月~11月に取り組んだ募金運動において、
みなさまから232,624円の

募金をいただきました。

この募金は「国際連帯救援
カンパ」および「アフガン寺子
屋プロジェクトinしまね」へ寄
付します。



県職連合×しまね海洋館 アクアス
お楽しみクーポン

クーポンの有効期間は

3月末まで!

申込者は忘れずにご利用ください!

機関紙《新春特集号》当選発表!!

特等

しまね和牛

215/682/1209/2231/3992

A賞

仁多米(5kg)

92/511/1007/1487/2580

B賞

ヘルン
マグカップ&小皿

669/1120/2331/3150/3963

C賞

紅ズワイガニ
(脚むき身 20×2箱)

307/1234/1841/4006/4043



おめでとう
ございます!

当選された方は2月14日(金)までに、当選番号がわかる機関紙(コピーでも可)を各支部書記局
(県外支部は本部書記局)に持参またはFAXし、①商品のお届け希望日(2月25日(火)以降、
②時間(※)、③お届け先、④お届け先の電話番号をお知らせください。

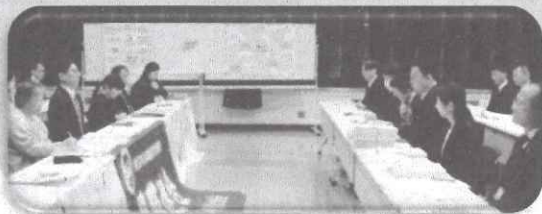
※時間については、(1)指定なし、(2)午前中、(3)14時~16時、(4)16~18時、(5)18時以降の中からお選び下さい。

2024 年を振り返ろう！ 県職連合重大ニュース

2024 確定闘争妥結

11月11日、最終知事交渉において妥結。

長年要求してきた高速道路利用要件緩和や、労使で協力して様々な課題を解決するために「働き方改革検討会」等の労使協議会で協議していくことなど、職場課題や働き方の解決は労使関係が重要であることを再確認できる交渉となりました。



5年ぶりのバレーボール大会開催

9月28日の福利厚生県大会にて、2019年開催以来のバレーボール大会を開催★

支部予選を勝ち抜いた14チームが参加し、どのチームも一丸となり熱戦が繰り広げられました！

大会後のレセプションも含め、大盛り上がりの1日でした。

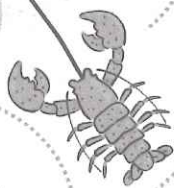


ザリガニ釣り（福利厚生事業）

SDGs体験として、7月20日に外来種駆除体験を実施。



定員50名のところ、倍以上の応募があり、急遽参加人数枠を増やし、身近な社会貢献活動を体験できました。外来種駆除後はバーベキューもして、組合員とその家族で親睦を深めることもできました。

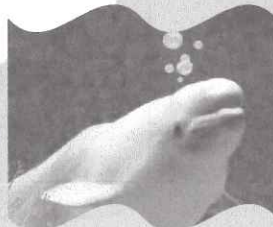


アクアス割引クーポン券発行

2024年10月から、組合員の福利厚生と、「アクアス」の開散期利用促進のため、「アクアス」と連携し割引クーポン券を発行しました。

予定発行数がすぐにいっぱいになるほどの大盛況となり、初回発行はすぐに応募を締め切りました。

第2弾も発行予定★



「しまね自治研」に全国から2,700人集う

「創ろう、市民自治のゆたかな社会～結びつなげる、しまね自治研～」として、第40回地方自治研究全国集会が10月4日、5日に開催。

全国から2,000人以上が参加し、県職連合からも多くの組合員に参加いただきました。「組合と地域のつながり」「参加者の気づきや学び」など様々なことにつながる集会となりました。



1-2部「しまね創生ジャーニー」初開催★

島根県の地域づくりを学び、今後のキャリアについて考える研修会として「しまね創生ジャーニー」を12月6日、7日に初開催！

初回の研修地域は大田市温泉津町でした。



国会訪問（政治政策事業）

組合での政治政策の取り組みの意義と理解と促進を図るための事業として7月5日、6日に開催しました。

国会議事堂見学や、国会議員との意見交換をしたことで、政治を身近に感じ、今後の取り組みの大切さを確認することができました。



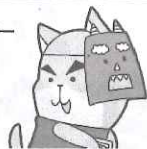
衆議院議員選挙推薦候補者 2度当選！！

「亀井亜紀子」さんが4月の衆議院議員補欠選挙と、10月の第50回衆議院議員選挙の2つの選挙で当選しました。

労働者の代表かつ女性の意見を国会に届けることができる議員が島根からも誕生★「島根を変える、日本が変わる」をキャッチフレーズに活動している亀井さんと、今後も連携していきます。



Jichiro しまね県職連合

県職連合キャラクター
「わんしょうくん」

第238号

1面…ユース部活動報告
2面…「はくいし恵子」県政報告
会、岸まきこ活動報告、退
職者会だより

発 行

島根県職員連合労働組合

〒690-8501 松江市殿町1番地 県庁内

TEL 0852・22・5475(代) FAX 22・6654

<https://www.kenshokurengoshimane.jp/>

県職連合 ユース部 2024 活動報告

ユース部は満29歳以下（4月1日年齢）および採用から2年目までの組合員による組織です。県職連合組合員約1,200名で構成されており、本部と9つの支部の体制で、**若年層の問題解決、学習及び仲間づくり**のために積極的に活動を行っています。今号ではユース部の活動を紹介します。

問題解決に係る活動	ユース部員を対象にした職場アンケート、人事課長交渉
学習に係る活動	役員勉強会、新規組合員学習会、研修「しまね創生ジャーニー」
仲間づくりに係る活動	大交流会、サッカー・フットサル大会 ※全組合員対象
その他	機関誌の発行、定期大会、上部団体への研修会への参加
支部の活動	学習会、レクリエーション、定期大会※開催時期は、支部によって異なる

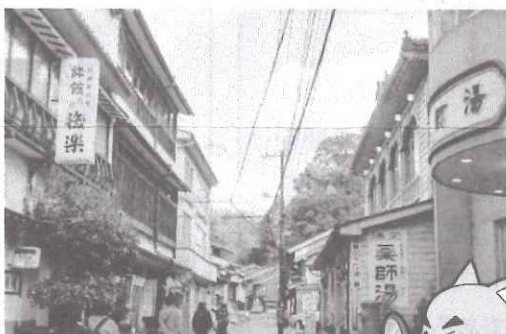
活動報告1

研修「しまね創生ジャーニー」

2024年12月6日（土）から7日（日）の2日間、大田市温泉津町を研修地域に、**島根県の地域づくりを学び、今後のキャリアについて考える研修会『しまね創生ジャーニー』**を開催しました。

当日はフィールドワークのほか、**地域で町おこしや人材育成に携わる方々3名を講師に迎え、取り組みについて説明をしていただきました。**

参加者からは、「地域活性化のモデルケースを知ることができた」「島根県の良いところを見つけた」などの感想や、「もっと業務などで挑戦してみたい」「もっと地域と関わりたい」など、意識の変化につながった感想がありました。



▲約800mの町並みは、国の重要伝統的建造物群に指定されています。



▲説明を聞きながら温泉津の町を歩きました。



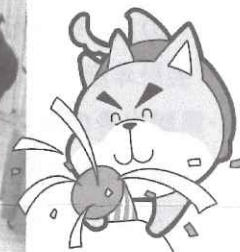
▲温泉津町の取り組みについて学ぶ参加者

活動報告2

大交流会



▲挨拶をするはくいしさん



12月13日（金）に、学習と仲間づくりを目的に、大交流会を開催しました。前半は、森本執行委員長を講師に、「**知事交渉の結果**」をテーマにした学習会を行いました。2024年の交渉結果を振り返るとともに、ユース部員が日頃の職場環境について考える時間になりました。

後半は、美味しい食事と飲み物を囲み交流会です。来賓として「はくいし恵子」組織内議員にご挨拶をいただき、交流会がスタートです。



▲2024年確定闘争を振り返る森本執行委員長

今年は初めて結婚式場で開催しました。いつもと違う雰囲気、余興のビンゴ大会もあり、ユース部員同士の仲間づくりの時間になりました。

活動報告3

支部活動「西部地区スポーツ大会」

ユース部では、本部主催の活動に加えて、支部主催でも様々な活動が行われています。学習会やレクリエーションなど、支部ごとに特色のある活動です。2024年は、支部の枠を超えた取り組みが行われましたのでご紹介します。

11月30日（金）、**4支部（大田、邑智、浜田、益田）主催で、「西部地区スポーツ大会」が開催されました。**前半では、岩田執行委員による「組合活動について」をテーマにした学習会が行われました。後半はチーム対抗で「キンボール」「ドッジビー」「キックベースボール」の3種目が行われました。スポーツを通じて、健康づくりと仲間づくりの時間になりました。



▲キンボールは直径122cmの大きなボールを打ち合う球技です。



▲フリスビーとドッジボールを合わせた競技が「ドッジビー」です。



▲組合への理解を深めた後、健康づくりと仲間づくりの良い時間になりました。



はくいし恵子県政報告会

5期目折り返し

県職連合組織内議員として、これからも組合員の声を県議会の場に届けます！

1月24日(金)18時から職員会館多目的ホールをメイン会場として、「はくいし恵子県政報告会」を行い、5期目折り返しの活動を報告しました。県職連合ほか労働組合、一般の方など85人(web含む)が参加しました。

ゲストスピーカーには、「亀井亜紀子」衆議院議員をお迎えし、国政報告をしていただきました。参加者からは、県職や教職の職場実態などの意見が出され、亀井さんと活発な意見交換が行われました。



亀井亜紀子さんからの報告



▲衆議院の議員事務室から報告する亀井さん

- ・衆議院本会議で、会派を代表して代表質問に登壇する。
- ・代表質問に選ばれたのは、昨年の島根1区補欠選挙における勝利で注目されたことが大きい。労働組合組織の応援に改めて感謝している。
- ・島根県そして労働者の代表として、地方に暮らす人たち、中小企業の人たちの声を国会に届けていきたい。

はくいし恵子さんからの報告

・これまで県職連合組織内議員として、県職連合執行部との連携を密に行いながら、県職員の課題を議会に取り上げてきた。5期目では、男女バランスのよい職員配置や、職員宿舍の老朽化問題、会計年度任用職員の待遇改善など。

・県職出身の議員は、異動や業務で培ってきた経験により、島根県にとって必要なことを、県全体を見ながら考えることができる。県職連合組織内議員として一番大切なことは、県職員のみなさんと力を合わせてより良い島根県を目指すこと。

・日々、県民のみなさんから様々な要望や問題提起をいただいているが、その中でも本日は「指談」について取り上げたい。

●「指談」と議会等での取組について

指談とは…病氣や障害などで文字が書けない、言葉で伝えられない人の「〇」や線などのわずかな指の動きを支援者が手のひらや指先で読み取り、意思を確認する方法。

・自分自身、指談の会「ゆびさき」代表・天野依子さん(※登壇予定でしたが急遽ご欠席)に出会うまで「指談」のことは知らなかった。

・松江在住のある親子のお母さんは「指談」を使い始めて娘に明確な意思があることがわかった。しかし、「選挙で投票がしたい」という娘の意思をくみ取り投票所に行っても、「指談」が浸透していないことで投票所の方に認められず、投票をさせてもらえなかったという。

・親子のお話を聞いて、指談が手話や点字のように広く知られてほしいと思い、6月県議会で質問を行った。健康福祉部長から「健福職員の研修を行う」という回答があり、その後新聞にも取り上げられた。そして松江市、続いて安来市に合理的配慮を求めたところ、念願である投票をすることができた。取組を行って良かったと思える成果を得られた。



▲「指談」を実演するはくいしさんと森本執行委員長

はくいし恵子の活動情報



ホームページ



Q.どのようにして、自治体職場の困りごとをリアルタイムに吸い上げているのですか？

A.もともと自治体職場で働いていた経験があるので、国の法改正や様々な通知をみると、ピンとくることが多いです。

また、最新の現場状況については自治労の仲間や、自治体職員時代の仲間に聞くことで、現状を把握しています。



Q.今の日本に一番必要な政策は何だと思いますか？

A.最も大切なことは「教育」



Q.日々忙しいと思いますが、ストレス解消法は？

A.24時間ずっと元気ではいられない。オンとオフをしっかりと区切って、ぼーっとするときはぼーっとする！

退職者会だより vol.3

今年は退職者会の設立50周年

5月15日に記念式典を開催します

島根県職員退職者会は1975年9月に設立され、今年で50周年を迎えます。

設立に向けて当時の「県職労」の役員の皆様に、多大なご尽力をいただいたと聞いています。設立時は562名の会員でスタートし、最も多い時期は2,500名余の会員を擁するまでに発展してきました。

この間旅行や軽スポーツ事業、講演会などの事業を通して会員の親睦を図ってきました。また、保険事業や物資斡旋などの福利厚生事業に取り組んでいます。

さらに、福祉や年金、医療といった高齢者の生活に係る事柄について学習会を開催して理解を深め、全国の高齢者団体と共に制度改善を国へ要望する活動も行っています。

現在は入会者の減少などで会員数は1,500名余となり、厳しい状況にあります

が、会員は県下各地で地域活動や、郷土研究、ボランティア、起業ほか様々な分野で活躍しています。

新聞などで、「元県職員の〇〇さん…」と形容のつく記事をご覧になったことがおありだと思います。

50周年を契機に、これからも会の趣旨である会員同士の親睦と生活の向上に引き続き取り組んでいきます。



▲退職者会発足時の県職労機関紙(一部抜粋)

